

東北大学附属図書館報

木這子



BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

「昭和58年度学術情報センターシステム開発調査

概要（昭和59年3月文部省）」について

学術情報センター（仮称）は、学術情報システムの中核機関として、一次情報の目録・所在情報のサービス及び学術情報検索サービスを主要な任務としている。

昭和55年文部省に、わが国の学術情報流通体制の確立を促進するため「学術情報センターシステム開発調査協力者会議」が設置された。

同会議は、学術情報センターにおける情報処理に関するシステムについて開発調査することを目的とし、具体的には、①センターシステムの構成と管理の要件②データベースの管理システム（DBMS）の設計、作成③目録・所在情報の処理形成などについて調査することとし、開発が行われてきた。

昭和58年度は、学術情報センターのサービスのうち、目録・所在情報の蓄積・提供サービスを行うためのシステムの実現に向けて具体的検討が行われ、文献情報センターのシステムが当面果たすべき対象業務としては、①図書目録業務（図書の目録・所在情報の蓄積・提供の処理）②雑誌目録業務（雑誌の目録・所在情報の蓄積・提供の処理）③図書館間相互貸借業務（文献複写等の申込み・受付け・精算等の処理）④情報検索業務（各種データベースの格納及び検索の処理）⑤利用者教育（講習会・研修等の実施）⑥研究開発⑦運用管理業務としたほか、データベース管理システム、ネットワーク、ソフトウェアの機能や最低限のハードウェアについて設定したシステム仕様を作成した。さらに、目録・所在情報サービスを運用す

るための目録規則、データ構造及び使用する各種MARC類に関する基本方針や、目録・所在情報サービスの運用方式の基本的な考え方等々についても調査が行われ、結果がまとめられている。

また、文献情報センターに対応する大学図書館業務電算化の進め方についての関係を解説したガイドラインについて検討され、これが近く刊行されるが、これから学術情報センターシステムに対応する大学図書館側にとって電算化システムの整備を計画する指針となることであろう。

現在、学術情報センター（仮称）は、独立の共同利用機関として創設するまでに至らず、昭和58年度に設置された文献情報センター（東京大学）——学術情報センター構想の実現に向けては前進である。——が、昭和59年度には全国共同利用施設（東京大学）として拡充され、大学図書館等に対する目録・所在情報サービスは具体的なシステム実現を見通す段階となり、昭和59年度中には東京工業大学、名古屋大学、大阪大学の3大学の附属図書館を地域センター（RC）として文献情報センターシステムと接続して目録業務の試運転をする予定である。

同会議によるシステム開発調査は、本年をもって終了し、以後の開発は文献情報センターに引継がれることになった。

なお、「昭和58年度学術情報センターシステム開発調査概要」の全文については学内関係各位及び分館、部局図書掛に配布いたしますのでご覧いただければ幸いに思います。

東北地区国立大学図書館機械化ネットワーク 協議会（第1回）について

昨年9月、東北地区大学図書館協議会国立部会において設置された標記の第1回目の協議会が、59年4月19日山形大学附属図書館において、各大学の館長、事務（部・課）長の出席のもとに開催された。

会議は、先ず、吉岡当館館長を座長に選出したあと、NC・RC・MLの現況説明、地区内各大学における図書館業務機械化への対応の状況報告、東北大学図書館情報処理システム計画の概要説明が行われた。次いで、東北地区としてのネットワークの開発に関し必要な専門的な事項について連絡、検討し、具体的なシステム設計の原案を作成するために実務担当者からなる図書館業務機械化開発専門委員会を発足することの提案があり、承認された。専門委員については、おって当該館長から推薦することとした。

図書館業務機械化開発専門委員会

上記専門委員会の専門委員については各館長から以下のように推薦の通知があった。

弘前大学	五十嵐輝雄（受入係）
岩手大学	日出 弘（目録係）
宮城教育大学	山本 達（管理係長） 加藤誠吉（運用係長）
秋田大学	碓子洋行（受入係長）
山形大学	小笠原要蔵（参考調査係長）
福島大学	田中 進（雑誌資料係長） 小椋正行（整理係）

東北大学・本館 阿部壽雄（専門員）、湯本一義（受入掛長）、小野和夫（洋目掛長）、佐藤正弘（逐刊掛長）、佐藤定夫（閲覧掛長）
医学分館 米沢 彰（整理掛長）
北青葉山分館 菅野博之（図書掛長）
工学分館 柄原孝夫（整理・運用掛長）
農学分館 中島 甫（図書掛長）

図書館業務機械化検討の状況（3）

昭和59年2月～4月

雑誌業務 WG： 第16回（2/8）雑誌業務サブシステムの適用業務の範囲について（つづき） 第17回（2/24）雑誌業務サブシステムの目的と効果について 第18回（3/14）処理概念図、各業務フローについて 第19回（3/21）必要なコード類、移行計画について。

受入業務 WG： 第14回（2/9）受入サブシステムの構成図、受入業務サブシステムの目的と効果及び図書コード等について（つづき） 第15回（2/23）各種コードについて 第16回（3/1）業務処理

フローについて 第17回（3/15）業務処理概念図について 第18回（3/23）業務処理概念図、入出力帳票、移行計画について。

目録業務 WG： 第16回（2/7）目録業務サブシステムの目的と効果について 第17回（2/15）～第18回（2/22）処理概念図について 第19回（3/6）処理概念図及び書誌所在情報作成フロー等について 第20回（3/13）目録検索サブシステムについて等 第21回（3/16）移行計画等について。

閲覧業務 WG： 第15回（2/9）利用者IDについ

て、閲覧サブシステムの構成、処理概念図について
第16回(2/23)～第17回(3/5) 閲覧サブシステムの
目的と効果について 第18回(3/15) 入出力帳
票について 第19回(3/22) 移行計画等について。

WG 連絡会： 第5回(3/2) 各ワーキンググルー
プの検討状況について、ILLシステムについて
第6回(3/2) まとめの日程について 第7回(3/

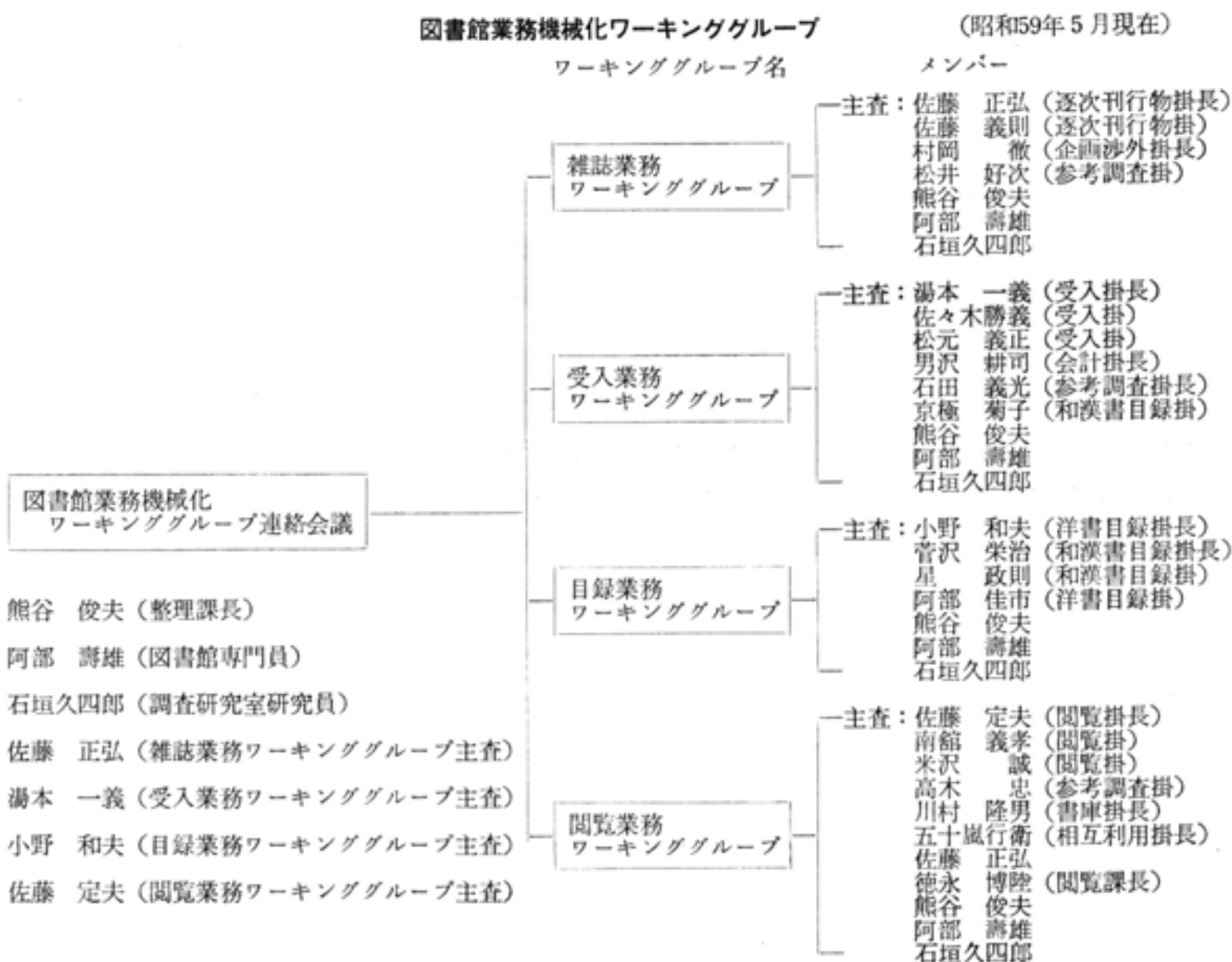
12)、第8回(3/19)、第9回(3/26)、第10回(3
/29) 及び第11回(3/31) 図書館情報処理システム
計画(第2年次報告)のまとめ、59年度第1回
(4/26) 59年度ワーキンググループの編成及び検
討事項について。

図書館業務機械化に関する掛長等懇談会： 第5回
(2/28) 受入業務機械化の概要について。

図書館業務機械化ワーキンググループ等の 編成について (昭和59年度)

本学における図書館業務機械化の実施を図るた
め、昨年度に引続き、業務別にワーキンググルー
プと各ワーキンググループ間の共通的な問題に関
する連絡調整、全般的な計画のまとめ等の役割を

担うワーキンググループ連絡会議とを設置し、検
討を継続することとした。各メンバー編成は次図
の通りである。



大学図書館等のうごきから

○文献複写委員会（国公私大図書館協力委員会の専門委員会）は、全国的な文献複写業務処理における標準化、改善策等の立案を目的として設けられているが、同委員会は現在、ILLシステム（大学図書館間相互利用システム）への対応、複写料金の延納制実施の問題、国公私大間の文献複写協定案作成及び文献複写マニュアル作成等の検討を進めている。

○文献情報センター（東大）は、59年4月、学内共同教育研究施設から全国共同利用施設へと改組された。同センターは、学術情報システムにおける文献情報に係る中心的な施設として全国の大学図書館とコンピュータネットワークを形成して目録、所在情報サービスを実施するとともに、新たに二次情報検索システムの研究開発に着手する。なお、同センターは、去る3月、都内大塚の新しい建物に移転し、スーパーコンピュータも導入された。

○大学図書館業務電算化の進め方のガイドラインが近く刊行される。文献情報センターの発足に伴い、目録、所在情報サービスの具体化に向け動き出したが、これに対応する大学図書館側もシステムの整備を計画的に進める必要がある。このガイドラインは、文献情報センターへの接続を前提にした大学図書館の電算化の種々の実現方法について、大学図書館関係者が具体的に理解できるようまとめられるもので、学情システム開発調査協力者会議での検討にもとづくものである。

○学総目と文編データベース編集のため、昨秋、本学所蔵のデータについても提出したが、その後の進捗状況は——全国から文献情報センターに集められた書誌修正及び書誌追加データは合計約4万

3千枚、2万タイトルにのぼり、チェックのうえ入力され、さらに92万点の所蔵データも3月までに機械可読化された。明60年5月の終了を目途に編集が進められている。

○大型コレクションは、人文・社会科学系の図書資料で学内予算で入手困難なものに対し、文部省が各大学の収集計画にもとずき昭和53年度より購入費を配分して、学内・外の共同利用に供されているものであるが、昭和58年度の配分状況は——27大学、27件（採択率は申請件数363件の7.5%）総計約1億6千万円であった。（本学への配分は本誌前号の通り）

○国立大学図書館協議会総会（第31回）は、来る6月14～15日、中国四国地区協議会の当番により、愛媛大学で開催される。研究集会（テーマ；文献情報センター設置に伴う各大学図書館の今後の業務のあり方について）、分科会（運営サービス、予算・人事）、全体会など。

○全国図書館大会（日本図書館協会ほか主催）の明年の大会は、同年10月、仙台市で開催される。全国から図書館関係者が参加し、館種別、テーマ別の部会のほか全体会などが開かれる。大学図書館関係は第4部会。

○国際図書館連盟（IFLA）東京大会（1966年）の組織委員会（永井道雄委員長、国大図協からは横国大館長が代表参加）は、この大会のメインテーマとして“21世紀への図書館”と決定した。サブテーマは、1. ニューメディアの影響 2. 図書館サービスの变化 3. 図書館利用者の变化 4. 図書館管理・運営の変化 5. 図書館員・情報専門職の教育と訓練 6. 情報利用における国際協力 7. 印刷・非印刷メディアの保護と保存 8. 先進国と発

展途上国との関係 9. 各国の図書館サービス発展の条件 10. 新しい図書館の理念。

○文化庁「著作権の集中的処理に関する調査研究協力者会議」（座長安藤良雄成城大学長）は、文献複写の利用者から著作権料を徴収する方法につ

いて検討していたが、4月27日、米国や西独にならった集中的処理機構を設けることを提言する最終報告書をまとめた。当面の徴収の対象は企業が大量にコピー使用している学術関係の定期刊行物としている。

医学分館新館完成

久しく待ち望まれていた医学分館の新館は、医学部基礎棟と臨床研究棟のほぼ中間に位置して、国道48号線沿いの医学部通用門を入ってすぐ右手（旧耳鼻科研究棟跡）に昨年3月から工事が進められてきましたが、関係者のご努力により本年1月完成しました。現在の旧第2内科研究棟に仮住まいして13年目、東北帝国大学附属図書館医科分館の設置から数えて70年目のビックイベントになります。建物は外壁を濃いアイボリーの珪酸質タイルにより、イギリス張りで仕上げた鉄筋コンクリート4階建（一部地下1階）、建築延面積は4,025㎡です。工事概要や主な設備は近く作成予定の「医学分館概要」にゆづります。



6月21日からの開館を目標に、館員は目下内部調度品の整備や資料の移転作業等を精力的に推し進めております。休館による利用者の痛手を思う時、私達館員は一日も早い開館をと願うものです。

が、反面それを困難にする因子も存在します。その一つは、3カ所に分散された蔵書群を新館に於て統合、一体化する作業です。即ち、①現医学分館本屋分の蔵書約10万冊、②旧精神神経科跡に保管の蔵書（北六書庫）約5万冊、③片平の科研N棟に仮保管中の蔵書（旧耳鼻科書庫）約5万冊、これら3系統の資料計約20万冊を新館の書庫で合体・統一して排架する問題です。もう一点は、書架の組立に關しての問題です。これは現在の書庫で実際に使用中の書架のうち約3分の2（437面）と、科研N棟に仮保管中の同型書架（166面）の合計603面を一度解体し、それに同型書架の構成部材を新たに買い増して、総計1,313面の新書架に組替えて、新館書庫の書架構成を計画、実行する点です。

そしてこの車の両輪を遅滞なく同時進行させることこそが、周到な事前計画を必要とした点でもあり、又移転スケジュールを円滑に進めるための必要条件でもある訳です。利用者の皆様には、以上のような当館固有の事情をご理解頂き、いましばらくのご猶予とご協力をお願いいたします。

なお、移転に伴う運用、整理関係業務の休止期間等は下記のとおりです。

①図書の閲覧、貸出、参考調査、相互貸借、機械検索、文献複写業務等は、

昭和59年4月23日（月）から6月20日（水）

まで休止。

②新着雑誌（1982年—1984年刊）の閲覧，貸出，コピー等は，

昭和59年6月4日（月）から6月20日（水）まで休止。（移転スケジュールにより変更あり）

③新年度の図書の購入，雑誌の製本等の請求事務は，

昭和59年6月21日（木）から新館で受付。

④新年度の寄贈図書の請求事務は，

昭和59年8月1日（水）から新館で受付。

⑤講座等で購入している最近到着雑誌の配付，持帰りは，

昭和59年5月26日（土）までは旧館で配付。

昭和59年5月28日（月）から6月20日（水）まで休止。

昭和59年6月21日（木）から新館で配付。

（医学分館リポーター）

東 北 大 学 記 念 資 料 室 だ よ り

1 昭和58年度停年退官者記念写真・著作目録作製作業おわる 昭和40年以来本室の手で行われて来た上記作業は，12月から順を追って進められ，写真は3月中旬，著作目録は5月上旬，すべて完成した。何十年の研究生活を物語る論文目録は，編集も校正も大変ではあるが，またとない機会なので最近希望者が多くなり，その贈呈（100部）への返礼としての著書・論文集録の本室への寄贈も，いちじるしく増加している。本年度の記念写真贈呈者は28名で，著作目録贈呈者は25名であった。自著論文の集録等を寄贈されたのは今日までで既に9名におよんでいる。

2 6月18日（月）～6月23日（土） 東北大学記念資料室昭和59年度定例展示会 例年どおり6月22日の本学開学記念日の前後の時期の開催で，過去1年間に収集されたおもな記念資料と，永く収蔵されていて要望の多い優秀な品のいくつかとを，附属図書館本館エントランスホールに陳

列する。一般市民にも公開されるので多勢の来館を期待している。

3 「東京大学百年史」刊行はじまる かねて多くの関係者によって鋭意編纂の進められていた「東京大学百年史」は，いよいよ本年3月から通史8冊，資料4冊から成る巨編の姿を現わしはじめた。今回は通史1，資料1の2冊であるが，これが完成した暁には，戦前の「東京帝国大学五十年史」（昭和7年），戦後の「東北大学五十年史」（昭和32年）のように，大学史編纂上の一標準とされることであろう。心からお祝いを申したい。かねてから本室は御縁が深いので，早速，2冊を寄贈していただいた。厚く御礼を申し上げます。同書の題字は東京大学第17代総長茅誠司先生の筆である。先生は本学理学部大正12年の卒業生である。かたがたもって御健在と御発展を心からお慶び申し上げる次第である。

中国語図書印刷カード（北京図書館編印）の 購入について

本館においては、年々中国語図書の受入が増加の傾向にあり、年間で約2,000冊に及びます。この中国語図書の目録及び分類等整理業務は容易ではなく、国内書に比べて極めて多くの処理時間と労力とを費しているのが現状です。

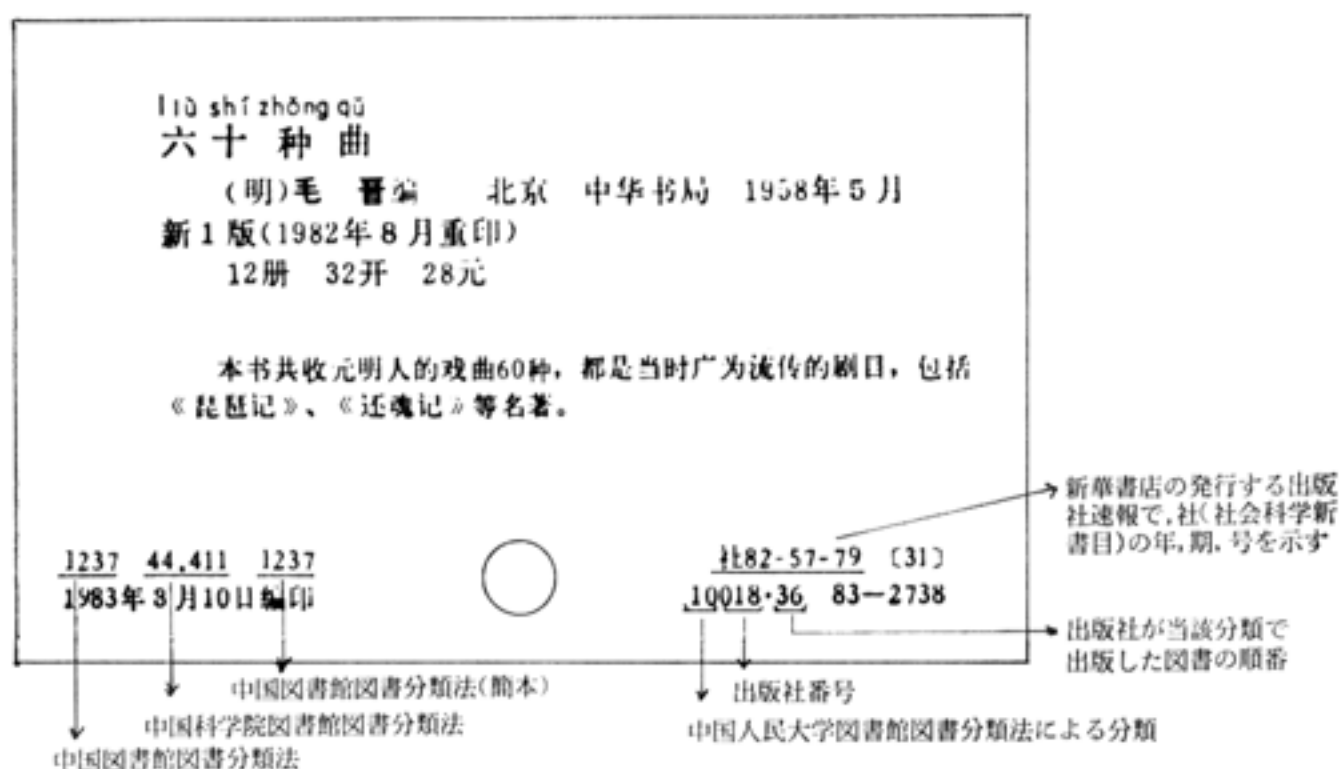
このようなことから、中国語図書の整理業務を能率よくしかも正確に行うために、最近市販されることになった中国語図書印刷カード（北京図書館編印）を1984年度発行分より購入し、利用することとしました。

現在開発が進められてる文献情報センター（全国共同利用施設）の目録システムにおいても、当

面は Japan-MARC, LC-MARC, UK-MARC のデータベース利用によるサービスの予定となっており、中国語などの言語による目録データベースについては、今後の研究開発という段階にあります。従って、中国語図書の整理業務には当分の印刷カードを利用することとしますが、さらにこのカードは、中国大陸の出版物のほとんどを網羅し、図書の受入に先立ち到着しますので選書、閲覧問合せ、参考調査業務などにも幅広く活用されることが期待できると思われます。

1 印刷カードの形態について

（記 載 例）



2 印刷カードの収録範囲について

印刷カードの作成されるものは(1)中国大陸（台湾を除く）の出版社で出版された図書(2)再版本で初版の時にカードを印刷しないもの。(1)再版本(2)少数民族文字を用いたもの(3)教科書(4)児童図書等の印刷カードは作成されません。

3 購入の範囲について

以下のテーマの範囲について全セット購入とテーマ別購入との方法がありますが、本館ではとりあえず受入図書の多い「文、史、哲」と「政治、経済」のテーマについて購入することとしています。

テーマ	主 な 内 容	年間(1982年) 発行数(推定)
文・史・哲	文学・語学・歴史・考古・地理・哲学・宗教・心理学等	4,000
政治・経済	政治・法律・経済・軍事・交通・貿易・社会科学・総論等	1,000
文化・教育・芸術	文化・教育・体育・芸術・絵画・書法・篆刻・音楽・電影等	2,700
自然科学	理数・化学・天文・気象・地質・生物・植物・動物・医薬・衛生・農業・牧畜・水産・工業・運輸等	6,000
総合性図書	総合的叢書・百科事典・年鑑・書目・索引等	300

4 印刷カードの配列について

本館事務室内の事務用目録カードケースに印刷カードの右下にある分類記号順（中国人民大学図書館図書分類法，出版社番号…）により配列し，利用することとします。なお，この分類記号は当該図書にも印刷されています。

人 事 異 動

発令年月日	旧 官 職	氏 名	新 官 職	備 考
59. 2. 29	閲覧課事務補佐員	斎 藤 恵 子		辞 職
3. 1		三 浦 康 子	閲覧課事務補佐員	採 用
3. 17	閲覧課事務補佐員	佐 藤 利 恵 子		辞 職
3. 30	整理課事務補佐員	仁 藤 順 子		〃
4. 1	法学部教務掛長	山 影 恭 久	総務課庶務掛長	配 置 換
〃	総務課庶務掛長	小 野 寺 勉	医療技術短期大学部庶務掛長	転 任
〃	経済学部会計掛長	男 沢 耕 司	総務課会計掛長	配 置 換
〃	総務課会計掛長	山 岸 好 雄	医学部附属病院中央検査事務掛長	〃
〃	整理課専門員 (受入掛長併任)	阿 部 壽 雄	整理課専門員 (受入掛長併任解除)	〃
〃	整理課逐次刊行物掛長	湯 本 一 義	整理課受入掛長	〃
〃	閲覧課相互利用掛長	佐 藤 正 弘	整理課逐次刊行物掛長	〃
〃	仙台電波工業高等専門学校図書係長	五 十 嵐 行 衛	閲覧課相互利用掛長	転 任
〃	医学分館文部事務官	小 松 武 彦	仙台電波工業高等専門学校図書係長	昇 任
〃	閲覧課文部事務官	沼 田 恵 美	医学分館文部事務官	配 置 換
〃	閲覧課文部技官	藤 原 克 彦	学生部文部技官	〃
〃		後 藤 美 登 利	閲覧課事務補佐員	採 用
5. 1	閲覧課文部事務官	佐 藤 博 子	整理課文部事務官	配 置 換
〃	整理課文部事務官	及 川 恵 美 子	閲覧課文部事務官	〃

第15回国立大学図書館東北地区協議会

標記の会議は4月19～20日の両日、山形大学で開催された。本学から吉岡館長、谷本事務部長、熊谷整理課長、村岡企画・渉外掛長、石垣調査研究室員、菅野北青葉山分館図書掛長、栃原工学分館整理・運用掛長が出席した。

協議に先立ち、久佐山形大学長の挨拶があり、続いて議長は慣例により当番館の白井館長が選出された。

出席者の自己紹介の後、議事に入り、当館谷本事務部長から地区活動状況等について報告があり、第31回国図協総会提出協議題、実務者研修会等について協議が行われた。

地区として総会に提出する協議題として
(f) 学術情報センターの早期創設について
(g) 学術情報資源の確保充実について
を提出することになった。

昭和59年度の理事館および当番館について次のように確認した。

理事館 岩手大学附属図書館

理事館及び地区連絡館 東北大学附属図書館

次期当番館 東北大学附属図書館

第1日目日程終了後、東北地区国立大学図書館機械化ネットワーク協議会が開催され、7月に専門委員会を開催することを了承した。

附属図書館商議会商議員名簿

昭和59年5月1日現在

所 属	氏 名	任 期	所 属	氏 名	任 期
図 書 館 長	吉 岡 昭 彦		理学部教授	高 柳 洋 吉	59. 4. 1～61. 3. 31
医 学 分 館 長	笹 野 伸 昭		医学部教授	河 本 和 友	"
北青葉山分館長	中 島 威		歯学部教授	佐 伯 政 友	59. 4. 1～60. 3. 31
工 学 分 館 長	井 川 克 也		薬学部教授	野 副 重 男	59. 5. 1～61. 3. 31
農 学 分 館 長	金 田 尚 志		工学部教授	木 村 正 行	57.11.16～60. 3. 31
事 務 局 長	山 本 研 一		農学部教授	堀 裕	"
文 学 部 教 授	寺 田 隆 信	58. 4. 1～60. 3. 31	教養部教授	小 川 陽 一	59. 4. 1～61. 3. 31
教育学部教授	松 野 豊	57.11.16～60. 3. 31	選 研 教 授	徳 田 昌 則	"
法 学 部 教 授	関 口 栄 一	59. 4. 1～61. 3. 31	科 研 教 授	藤 崎 春 雄	57.11.16～60. 3. 31
経済学部教授	渡 辺 寛	58. 4. 1～60. 3. 31			

お知らせ

○入館券の交付について

東北大学附属図書館（本館）を利用する本学の教職員及び学生は、利用者として登録をし入館券の交付を受けて下さい。交付を受けないと図書館の利用ができませんのでご注意下さい。

入館券の申込受付は、教職員・院生はメインカウンター（1階）、学生は開架閲覧室カウンター（2階）で常時おこなっております。なお教養部新入生でまだ入館券・貸出券の交付を受けていない方は開架閲覧室

カウンターまでお申し出下さい。

○開館時間の延長について

昭和59年度の開館時間の延長は下記の通りです。

実施期間 昭和59年4月11日（水）～7月17日（火）

9月1日（土）～12月24日（土）

昭和60年1月11日（金）～2月23日（土）

開館時間 平日 9時～20時

土曜日 9時～17時

昭和58年度本学教官等の寄贈図書紹介

寄 贈 者 名	著 者 名	書 名	定 価	発 行 所	発行年
伊東信雄(文・名誉教授) 須藤 隆(文・助教授)	伊 東 信 雄 須 藤 隆	「瀬野遺跡」		東北考古学会	昭57
徳永重良(経・教授) 〃	Institute of Oriental Studies, USSR Academy of Sciences	農林水産物の貿易 1979年版 Soviet oriental studies today. pt.1-2	4,500	日本貿易振興 会 USSR Aca- demy of Sciences	1979 1980
文学部考古学研究室 〃		考古学論叢 1 モサノル北海道上川郡下川町幸成モサ ノル旧石器時代遺跡出土資料(考古学 資料集4)		寧楽社 考古学研究室	1982 昭58
文学部国文学研究室内岡 崎義恵先生追悼記念会		回想岡崎義恵先生		岡崎義恵先生 追悼記念会	昭58
農学部志村憲助教授退官 記念事業会		志村憲助教授退官記念 絹とのめぐり あい		志村憲助教授 退官記念事業 会	1983
文学部英文研村岡勇先生 喜寿祝賀事業会		村岡勇先生喜寿記念論文集 英文学試 論	3,500	村岡勇先生喜 寿祝賀事業会	昭58
吉田震太郎(経・教授)	都市景観共同研究 会	仙台市における都市景観整備のあり方 に関する基礎調査報告書		都市景観共同 研究会	昭58
松井一麿, 浅野博夫, 宮腰英一, 大桃敏行 (教育学部)	トーマス・ヒル・ グリーン	イギリス教育制度論	2,200	御茶の水書房	1983
岩下新太郎(教育・教授)	岩 下 新太郎	教育指導行政の研究	5,000	第一法規	昭59
渡部治雄(教養・教授)	渡 部 治 雄 酒 井 信 介	溪水 東北大学基督教青年会館再建三 十周年記念		東北大学基督 教青年会	1984
医学部応用生理学教室	医学部応用生理学 教室	鈴木泰三教授退官記念研究業績集		東北大学医学 部応用生理学 教室	昭58
大学教育開放センター	大学教育開放セン ター	大学教育開放センター10年の歩み		大学教育開放 センター	昭59
〃	〃	大学教育開放センター10周年記念論集		〃	昭59

東北大学附属図書館報「木遣子」 第9巻 第1号(通巻第33号) 発行日 昭和59年5月31日

編集委員長 吉川和幸 編集委員 佐藤忠弘, 阿部佳市, 佐藤正弘, 南館義孝

発行人 谷本幹男 発行所 東北大学附属図書館 仙台市川内 電話 代表 22-1800(2408)